MICHAEL GOVE

UK Secretary of State for Education 2010 – 2014

LONDON
SPEAKER
BUREAU

Topics

- Education
- Government
- Politics
- Society

Michael Goveは、2010 - 14年から教育長官、2015 - 16年から法務長官を務めました�David Cameronの伝記作家�Anthony Seldonは、GoveをCameron政府の最も「効果的な大臣」と見なしました。

教育長官として、ゴーブは百年の間英国の教育制度の最も広範囲な改革を紹介しました。教育が改善されない限り、英国は経済として、そして社会として遅れを取るであろうという信念に動かされています。ゴーブは現代経済の変化するトレンドに基づいて彼の教育改革をモデル化し、卓越した教育のための世界的な競争が次の世紀を定義すると確信しています。

Goveは、新しい自由を校長先生に広げることによって個々の学校の運営を変えました - 中等学校の大部分は現在アカデミーになっています - 本質的に州のセクターの独立した学校。彼はまた州のシステムの何百もの全く新しい独立した学校 - フリースクール - を設立しました。

ゴーブは2005年に国会議員に選出されました。彼は住宅計画のシャドー大臣および子供、学校、家族のためのシャドー国務長官を務めました。

治安についてゴーブは定期的に英国の国家安全保障理事会に出席し、イスラム原理主義によってもたらされた脅威に深い関心を寄せています。彼は最高レベルでブリーフィングを受け、イスラムテロに関する最も売れている作家であり、そしてプーチン大統領の大戦略をよく理解しています。

職業別のジャーナリストである彼は、The Timesの作家�BBCの放送局としての地位を活かして、より大きな個人的自由、より厳格な犯罪、よりダイナミックな経済、よりクリーンな環境、より強力な防衛、そしてより良い取引のために戦ってきました。強く押された家族のために。

Goveは現在、英国がBrexitを成功させるために、メディアの自由、科学、ミッション主導の公共投資、計画改革、賢明な産業戦略、そして経済学者を無視して繁栄を最大化する方法について著述しています。

info@londonspeakerbureau.my   +603 2301 0988